

発議第12号

平成 29 年 12 月 22 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

提出者	幕別町議会議員	田口 廣之
賛成者	幕別町議会議員	千葉 幹雄
賛成者	幕別町議会議員	中橋 友子
賛成者	幕別町議会議員	寺林 俊幸

平成 30 年度畜産物価格決定等に関する要望意見書  
上記の議案を、別紙のとおり会議規則第 14 条の規定により提出します。

## 平成 30 年度畜産物価格決定等に関する要望意見書

北海道の酪農・畜産は、気象・地理的に不利な条件を克服しながら、専業経営を主体に発展し、豊富な飼料基盤を維持しながら、国民への安全で良質な牛乳・乳製品及び肉類の安定供給という重要な使命を担っています。近年は、府県の生産基盤の後退に伴って北海道の位置づけが高まってきています。

加えて、酪農・畜産は、北海道農業の基幹部門として、乳業や食肉加工業など幅広い関連産業を通じて地域の雇用や経済を支えるとともに、農村社会の活力を維持するなど、極めて重要な役割を果たしています。

しかしながら、北海道酪農といえども、止まらない飼養農家戸数の減少と乳用牛頭数の減少という厳しい現実と直面しており、現在では生乳生産量は減少局面にあります。これまで、巨額な投資と補助事業に後押しされた規模拡大政策によって、生乳生産量全体を確保してきましたが、生産現場ではこうした手法にも多大な投資負担や労力面等からも限界感が漂ってきています。

さらに、広大な北海道の酪農地帯においては、単なる生乳生産のためではなく、地域コミュニティを維持するため、中小規模の酪農経営をいかにして次世代に繋いでいくかが重要な課題となっており、こうした視点を取り入れた生産基盤の強化策が求められています。

また、TPP協定や日EU・EPA交渉などによって、我が国の牛肉・豚肉や乳製品市場は、これまでに経験したことのない高い水準の自由化が迫られています。このため、次世代を担う後継者をはじめ多くの農業者は、更なる国内生産の縮小と所得の低下を招きかねないと将来不安を強めています。

ついては、国民の基礎的食料の一つである牛乳乳製品及び畜産物の安定供給、地域経済・社会を支える家族経営・農業法人を中核とする酪農・畜産の持続的な発展を図るため、未来を切り拓く生産現場に寄り添った酪農・畜産政策の推進と必要な予算措置に努められますよう下記事項をそえて強く要望します。

### 記

- 1 食料・農業・農村基本計画などで定める牛乳・乳製品や肉類の飼料自給率目標と生産努力目標の達成に向け、適切な国境措置の堅持、盤石な経営所得安定（所得補償）政策の構築、万全な需給安定対策の確立及び生産基盤強化対策の推進などを図り、国際競争に打ち勝つ国内酪農・畜産の持続的発展に資すること。
- 2 ウルグアイ・ラウンド農業交渉合意等における牛肉関税の引き下げの代償として導入されたセーフガードについては、国産牛肉の生産振興に重要な措置であることから、四半期ごとに設定される法定の発動基準数量の緩和などの見直しは断じて行わないこと。

- 3 輸入飼料に依存しない自給飼料型酪農生産に取り組む酪農家を支援する「飼料生産型酪農経営支援事業」については、将来不安を払拭し国際競争に対抗する経営安定政策として位置づけ、支援対象要件の弾力的な運用や支援の水準を高めるなど、事業内容の充実・強化を図ること。
- 4 畜産・養豚経営の更なる体質強化・所得安定に向け、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）の補てん割合の引上げや、養豚経営安定対策（豚マルキン）の補てん割合の引上げ並びに国庫負担水準の引上げを早急に実施に移すこと。
- 5 酪農・畜産経営は、短期の運転資金から長期の設備資金まで多額の資金を要し、その資金の回収には時間がかかり、畜産物価格や生産コストの変動も大きい等の特徴を有していることから、長期・低利な資金への借り換え、利子補給等を通じた営農負債償還圧の軽減により経営再建を後押しする畜産特別資金の事業を継続すること。
- 6 乳製品市場の国際化が進展する中で、国産需要の喪失やチーズ向け等乳価の下落による所得低下などが強く懸念されることから、国産チーズ等の生産振興・品質向上などを図るための万全な生産者等支援対策を講じること。
- 7 指定団体制度改革などに伴う生乳の需給安定に対する生産者不安を払拭するため、国の責任において、需給緩和時における生産者団体等による乳製品製造経費（委託加工費）や調整保管経費等を支援する万全かつ機動的な生乳需給安定対策を講じること。
- 8 専業地域及び兼業地域、大規模経営や家族経営など多種多様な地域事情を踏まえた計画的（安定的な投資）な事業の推進が可能となるよう畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）や酪農経営体生産性向上緊急対策事業（楽酪事業）の十分な予算を確保の上、生産現場の要望に対応した事業内容の充実強化を図ること。
- 9 酪農経営安定化支援ヘルパー事業については、酪農家の働き方改革の上でも、酪農ヘルパー要員の確保や雇用環境の充実等による定着及び新規就農の促進を図るためにも、極めて重要であることから、利用組合等生産現場の要望を踏まえた事業内容に充実強化すること。  
また、酪農ヘルパーに高度な専門技術者としての職業資格を付与する制度を創設し、資格取得登録者に対する給与・待遇面での政策支援を行うなど、人材養成対策を強化すること。
- 10 近隣アジア諸国を中心に海外における口蹄疫等の家畜伝染病が発生し、家畜伝染病の国内への侵入リスクが依然高いことから、国内における防疫対策並びに体制の充実強化を図ること。
- 11 北海道内を縦断した台風第18号により、デントコーンの倒伏などの被害が発生したことから、平成29年度に実施した代替粗飼料の共同購入支援やサイレージ品質低下防止対策を内容とする「粗飼料確保緊急対策事業」を30年度

も継続実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月22日

北海道中川郡幕別町議会

**【提出先】**

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣